

証券コード 6143  
2026年3月6日

株 主 各 位

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
**株式会社 ソディック**  
代表取締役 兼 CEO社長執行役員  
坪 祐 次

## 第50回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第50回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

<https://www.sodick.co.jp/ir/meeting.html>



（上記ウェブサイトにアクセスいただき、「第50回 定時株主総会」に掲載の資料をご確認ください。）

【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/6143/teiji/>



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



（上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「ソディック」又は「コード」に当社証券コード「6143」を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。）

なお、当日ご出席されない場合は、書面（郵送）又はインターネットによって議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、2026年3月27日（金曜日）午後5時15分までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

【書面（郵送）による議決権行使の場合】

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。

【インターネットによる議決権行使の場合】

後記の「議決権行使についてのご案内」をご確認のうえ、上記の行使期限までに議案に対する賛否をご入力ください。

敬 具

## 記

1. 日 時 2026年3月30日（月曜日）午前10時（受付開始：午前9時）
2. 場 所 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 当社本社3階会議室  
（末尾の「株主総会会場ご案内略図」をご参照ください。）
3. 目 的 事 項  
報 告 事 項
  1. 第50期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第50期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）計算書類報告の件
- 決 議 事 項
  - 第1号議案 剰余金の処分の件
  - 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）8名選任の件
4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）
  - （1）書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
  - （2）インターネットによる方法と議決権行使書を重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効なものといいたします。また、インターネットによる方法で複数回議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効なものといいたします。
  - （3）代理人によるご出席の場合は、本総会において議決権を有する他の株主の方1名を代理人とし、代理権を証明する書面をあわせてご提出ください。

以 上

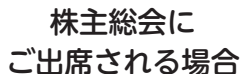
- ◎当日ご出席の際はお手数ながら本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。
- ◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載いたします。
- ◎書面交付請求をいただいた株主様には、電子提供措置事項を記載した書面を合わせてお送りいたしますが、当該書面は、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、次に掲げる事項を除いております。
  - ①事業報告の「業務の適正を確保するための体制」「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」
  - ②連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」
  - ③計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」従いまして、当該書面に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告を、監査等委員会が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。
- ◎株主総会当日の報告事項等の動画は、当社ウェブサイトにて、2026年4月1日以降、配信を予定しております。
- ◎定時株主総会終了後に開催しておりましたショールーム見学会は、リニューアル工事中のため開催いたしませんので、あらかじめご了承ください。

株主総会サイト： <https://www.sodick.co.jp/ir/meeting.html>





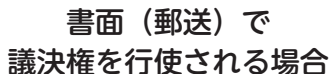
株主総会における議決権は、株主の皆様の大切な権利です。  
株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。  
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



本招集ご通知とあわせてお送りする  
議決権行使書用紙を会場受付にご提  
出ください。

日時

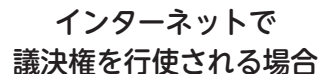
2026年3月30日（月曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時）



本招集ご通知とあわせてお送りする  
議決権行使書用紙に議案に対する賛  
否をご表示のうえ、ご返送くださ  
い。

行使期限

2026年3月27日（金曜日）  
午後5時15分到着分まで



次ページの案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2026年3月27日（金曜日）  
午後5時15分入力完了分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <h2 style="margin: 0;">議決権行使書</h2> <p style="margin: 5px 0;">株主番号 ○○○○○○○○ 議決権の数 XX 個</p> <p style="margin: 10px 0;">御中</p> <p style="margin: 10px 0;">_____</p> <p style="margin: 10px 0;">_____</p> <p style="margin: 10px 0;">_____</p> <p style="margin: 10px 0;">××××年 ×月××日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>○○○○○○○</p> </div> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> <td style="width: 12.5%; height: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> </tr> </table> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | <p style="margin: 0;">1. _____</p> <p style="margin: 0;">2. _____</p> <p style="margin: 0;">3. _____</p> <p style="margin: 0;">4. _____</p> <p style="margin: 0;">5. _____</p> <p style="margin: 0;">6. _____</p> <p style="margin: 0;">7. _____</p> <p style="margin: 0;">8. _____</p> <p style="margin: 0;">9. _____</p> <p style="margin: 0;">10. _____</p> <p style="margin: 0;">11. _____</p> <p style="margin: 0;">12. _____</p> <p style="margin: 0;">13. _____</p> <p style="margin: 0;">14. _____</p> <p style="margin: 0;">15. _____</p> <p style="margin: 0;">16. _____</p> <p style="margin: 0;">17. _____</p> <p style="margin: 0;">18. _____</p> <p style="margin: 0;">19. _____</p> <p style="margin: 0;">20. _____</p> <p style="margin: 0;">21. _____</p> <p style="margin: 0;">22. _____</p> <p style="margin: 0;">23. _____</p> <p style="margin: 0;">24. _____</p> <p style="margin: 0;">25. _____</p> <p style="margin: 0;">26. _____</p> <p style="margin: 0;">27. _____</p> <p style="margin: 0;">28. _____</p> <p style="margin: 0;">29. _____</p> <p style="margin: 0;">30. _____</p> <p style="margin: 0;">31. _____</p> <p style="margin: 0;">32. _____</p> <p style="margin: 0;">33. _____</p> <p style="margin: 0;">34. _____</p> <p style="margin: 0;">35. _____</p> <p style="margin: 0;">36. _____</p> <p style="margin: 0;">37. _____</p> <p style="margin: 0;">38. _____</p> <p style="margin: 0;">39. _____</p> <p style="margin: 0;">40. _____</p> <p style="margin: 0;">41. _____</p> <p style="margin: 0;">42. _____</p> <p style="margin: 0;">43. _____</p> <p style="margin: 0;">44. _____</p> <p style="margin: 0;">45. _____</p> <p style="margin: 0;">46. _____</p> <p style="margin: 0;">47. _____</p> <p style="margin: 0;">48. _____</p> <p style="margin: 0;">49. _____</p> <p style="margin: 0;">50. _____</p> <p style="margin: 0;">51. _____</p> <p style="margin: 0;">52. _____</p> <p style="margin: 0;">53. _____</p> <p style="margin: 0;">54. _____</p> <p style="margin: 0;">55. _____</p> <p style="margin: 0;">56. _____</p> <p style="margin: 0;">57. _____</p> <p style="margin: 0;">58. _____</p> <p style="margin: 0;">59. _____</p> <p style="margin: 0;">60. _____</p> <p style="margin: 0;">61. _____</p> <p style="margin: 0;">62. _____</p> <p style="margin: 0;">63. _____</p> <p style="margin: 0;">64. _____</p> <p style="margin: 0;">65. _____</p> <p style="margin: 0;">66. _____</p> <p style="margin: 0;">67. _____</p> <p style="margin: 0;">68. _____</p> <p style="margin: 0;">69. _____</p> <p style="margin: 0;">70. _____</p> <p style="margin: 0;">71. _____</p> <p style="margin: 0;">72. _____</p> <p style="margin: 0;">73. _____</p> <p style="margin: 0;">74. _____</p> <p style="margin: 0;">75. _____</p> <p style="margin: 0;">76. _____</p> <p style="margin: 0;">77. _____</p> <p style="margin: 0;">78. _____</p> <p style="margin: 0;">79. _____</p> <p style="margin: 0;">80. _____</p> <p style="margin: 0;">81. _____</p> <p style="margin: 0;">82. _____</p> <p style="margin: 0;">83. _____</p> <p style="margin: 0;">84. _____</p> <p style="margin: 0;">85. _____</p> <p style="margin: 0;">86. _____</p> <p style="margin: 0;">87. _____</p> <p style="margin: 0;">88. _____</p> <p style="margin: 0;">89. _____</p> <p style="margin: 0;">90. _____</p> <p style="margin: 0;">91. _____</p> <p style="margin: 0;">92. _____</p> <p style="margin: 0;">93. _____</p> <p style="margin: 0;">94. _____</p> <p style="margin: 0;">95. _____</p> <p style="margin: 0;">96. _____</p> <p style="margin: 0;">97. _____</p> <p style="margin: 0;">98. _____</p> <p style="margin: 0;">99. _____</p> <p style="margin: 0;">100. _____</p> <p style="margin: 0;">101. _____</p> <p style="margin: 0;">102. _____</p> <p style="margin: 0;">103. _____</p> <p style="margin: 0;">104. _____</p> <p style="margin: 0;">105. _____</p> <p style="margin: 0;">106. _____</p> <p style="margin: 0;">107. _____</p> <p style="margin: 0;">108. _____</p> <p style="margin: 0;">109. _____</p> <p style="margin: 0;">110. _____</p> <p style="margin: 0;">111. _____</p> <p style="margin: 0;">112. _____</p> <p style="margin: 0;">113. _____</p> <p style="margin: 0;">114. _____</p> <p style="margin: 0;">115. _____</p> <p style="margin: 0;">116. _____</p> <p style="margin: 0;">117. _____</p> <p style="margin: 0;">118. _____</p> <p style="margin: 0;">119. _____</p> <p style="margin: 0;">120. _____</p> <p style="margin: 0;">121. _____</p> <p style="margin: 0;">122. _____</p> <p style="margin: 0;">123. _____</p> <p style="margin: 0;">124. _____</p> <p style="margin: 0;">125. _____</p> <p style="margin: 0;">126. _____</p> <p style="margin: 0;">127. _____</p> <p style="margin: 0;">128. _____</p> <p style="margin: 0;">129. _____</p> <p style="margin: 0;">130. _____</p> <p style="margin: 0;">131. _____</p> <p style="margin: 0;">132. _____</p> <p style="margin: 0;">133. _____</p> <p style="margin: 0;">134. _____</p> <p style="margin: 0;">135. _____</p> <p style="margin: 0;">136. _____</p> <p style="margin: 0;">137. _____</p> <p style="margin: 0;">138. _____</p> <p style="margin: 0;">139. _____</p> <p style="margin: 0;">140. _____</p> <p style="margin: 0;">141. _____</p> <p style="margin: 0;">142. _____</p> <p style="margin: 0;">143. _____</p> <p style="margin: 0;">144. _____</p> <p style="margin: 0;">145. _____</p> <p style="margin: 0;">146. _____</p> <p style="margin: 0;">147. _____</p> <p style="margin: 0;">148. _____</p> <p style="margin: 0;">149. _____</p> <p style="margin: 0;">150. _____</p> <p style="margin: 0;">151. _____</p> <p style="margin: 0;">152. _____</p> <p style="margin: 0;">153. _____</p> <p style="margin: 0;">154. _____</p> <p style="margin: 0;">155. _____</p> <p style="margin: 0;">156. _____</p> <p style="margin: 0;">157. _____</p> <p style="margin: 0;">158. _____</p> <p style="margin: 0;">159. _____</p> <p style="margin: 0;">160. _____</p> <p style="margin: 0;">161. _____</p> <p style="margin: 0;">162. _____</p> <p style="margin: 0;">163. _____</p> <p style="margin: 0;">164. _____</p> <p style="margin: 0;">165. _____</p> <p style="margin: 0;">166. _____</p> <p style="margin: 0;">167. _____</p> <p style="margin: 0;">168. _____</p> <p style="margin: 0;">169. _____</p> <p style="margin: 0;">170. _____</p> <p style="margin: 0;">171. _____</p> <p style="margin: 0;">172. _____</p> <p style="margin: 0;">173. _____</p> <p style="margin: 0;">174. _____</p> <p style="margin: 0;">175. _____</p> <p style="margin: 0;">176. _____</p> <p style="margin: 0;">177. _____</p> <p style="margin: 0;">178. _____</p> <p style="margin: 0;">179. _____</p> <p style="margin: 0;">180. _____</p> <p style="margin: 0;">181. _____</p> <p style="margin: 0;">182. _____</p> <p style="margin: 0;">183. _____</p> <p style="margin: 0;">184. _____</p> <p style="margin: 0;">185. _____</p> <p style="margin: 0;">186. _____</p> <p style="margin: 0;">187. _____</p> <p style="margin: 0;">188. _____</p> <p style="margin: 0;">189. _____</p> <p style="margin: 0;">190. _____</p> <p style="margin: 0;">191. _____</p> <p style="margin: 0;">192. _____</p> <p style="margin: 0;">193. _____</p> <p style="margin: 0;">194. _____</p> <p style="margin: 0;">195. _____</p> <p style="margin: 0;">196. _____</p> <p style="margin: 0;">197. _____</p> <p style="margin: 0;">198. _____</p> <p style="margin: 0;">199. _____</p> <p style="margin: 0;">200. _____</p> <p style="margin: 0;">201. _____</p> <p style="margin: 0;">202. _____</p> <p style="margin: 0;">203. _____</p> <p style="margin: 0;">204. _____</p> <p style="margin: 0;">205. _____</p> <p style="margin: 0;">206. _____</p> <p style="margin: 0;">207. _____</p> <p style="margin: 0;">208. _____</p> <p style="margin: 0;">209. _____</p> <p style="margin: 0;">210. _____</p> <p style="margin: 0;">211. _____</p> <p style="margin: 0;">212. _____</p> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

➡こちらに議案の賛否をご記入ください。

## 第1号議案

- 賛成の場合      >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合      >> 「否」の欄に○印

## 第2号議案

- 全員賛成の場合     ≫ 「賛」 の欄に○印
- 全員反対する場合   ≫ 「否」 の欄に○印
- 一部の候補者を  
反対する場合       ≫ 「賛」 の欄に○印をし、  
反対する候補者の番号を  
ご記入ください。

※議決権行使書はイメージです。

書面（郵送）及びインターネットの両方で議決権行使をされた場合は、インターネットによる議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネットにより複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

# インターネットによる 議決権行使方法のご案内

インターネット行使期限  
2026年3月27日（金）午後5時15分

## スマートフォン等による議決権行使方法

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコード®を読み取ります。
- 2 株主総会ポータル®トップ画面から「議決権行使へ」ボタンをタップします。
- 3 スマート行使®トップ画面が表示されます。以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



## PC等による議決権行使方法

以下のURLより議決権行使書用紙に記載のログインID・パスワードをご入力のうえアクセスしてください。ログイン以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

株主総会ポータルURL ▶<https://www.soukai-portal.net>

議決権行使ウェブサイトも引き続きご利用いただけます。 ▶<https://www.web54.net>

## ご注意事項

- 一度議決権を行使した後で行使内容を変更される場合、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」「パスワード」をご入力いただく必要があります。
- インターネットと書面により重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使を有効なものいたします。また、インターネットによって複数回議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。
- 1・4・7・10月の第1月曜日0:00～5:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。

### お問い合わせ

三井住友信託銀行  
証券代行ウェブサポート  
専用ダイヤル

**0120-652-031**

（受付時間 9時～21時）



ぜひQ&Aも  
ご確認ください。

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、大切な資本をお預かりさせていただいた株主の皆様に対し、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、当期の業績及び資金収支等を総合的に勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

(1) 配当財産の種類

金銭

(2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金15円といたしたいと存じます。

この場合の配当総額は、759,715,275円となります。

なお、中間配当金を含めた当期の年間配当金は、普通株式1株につき金29円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2026年3月31日

**第2号議案** 取締役（監査等委員である取締役を除く。）8名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。以下、本議案において同じ。）全員（8名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、取締役8名の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査等委員会からは、特段の指摘すべき事項はありません。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏 名   | 性 別 | 現在の当社における地位及び担当  | 属 性     |
|-----------|-------|-----|------------------|---------|
| 1         | 古川 健一 | 男 性 | 代表取締役会長          | 再 任     |
| 2         | 坪 祐次  | 男 性 | 代表取締役 CEO 社長執行役員 | 再 任     |
| 3         | 塚本 英樹 | 男 性 | 取締役 専務執行役員       | 再 任     |
| 4         | 高木 正人 | 男 性 | 取締役 常務執行役員       | 再 任     |
| 5         | 工藤 和直 | 男 性 | 社外取締役            | 再 任 社 外 |
| 6         | 野波 健蔵 | 男 性 | 社外取締役            | 再 任 社 外 |
| 7         | 後藤 芳一 | 男 性 | 社外取締役            | 再 任 社 外 |
| 8         | 佐野 綾子 | 女 性 | 社外取締役            | 再 任 社 外 |

再 任

再任取締役候補者

社 外

社外取締役候補者

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 1          | <div>再 任</div> <div> <small>ふる かわ けん いち</small><br/>           古 川 健 一<br/>           (1972年 8 月 5 日生)         </div>                                                                                                                                                                                                                                                 | 1999年 8 月 当社入社<br>2007年 4 月 株式会社トム・ソディック取締役社長<br>2007年12月 当社財務部長<br>2008年 4 月 当社総合企画本部長<br>2008年 6 月 当社取締役<br>2010年 6 月 当社常務取締役<br>2012年 6 月 当社専務取締役 管理・総合企画担当<br>2012年 7 月 Sodick(Thailand) Co.,Ltd.取 締 役 会 長<br>(現)<br>2014年 6 月 当社代表取締役副社長<br>2018年 3 月 当社代表取締役社長<br>2018年 8 月 株式会社ソディックエフ・ティ取締役会<br>長 (現)<br>2024年 3 月 当社代表取締役 CEO 社長執行役員<br>2025年 3 月 当社代表取締役会長 取締役会議長 (現) | 860,545株          |
|            | <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>古川 健一氏は、子会社経営、財務・企画部門の統括、海外グループ会社の取締役会長など、多岐にわたる経営経験を通じて、当社の経営基盤強化と構造改革を長年にわたり牽引してきました。代表取締役社長としては、企業変革や収益性改善を主導し、中長期的な企業価値向上に大きく貢献してきました。</p> <p>さらに 2025年3月以降は代表取締役会長・取締役会議長として、これまで経営者として培ってきた経験や判断力を生かし、取締役会における議論を主導するとともに、経営陣による適切な意思決定を支える重要な役割を担ってきました。</p> <p>以上の実績から、同氏は当社の持続的成長と企業価値向上に不可欠な存在であると判断し、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者に定めました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                              | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 2          | <div>再 任</div> <div>あくつ ゆう し<br/>坏 祐 次<br/>(1964年3月19日生)</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 1987年 4 月 当社入社<br>1991年 1 月 Sodick, Inc.出向<br>2005年11月 Sodick, Inc.取締役副社長<br>2013年 7 月 当社執行役員 営業本部副本部長欧米担当<br>2016年 4 月 Sodick, Inc.取締役社長<br>2022年 1 月 工作機械事業本部副本部長<br>2022年 3 月 当社上席執行役員<br>2022年11月 当社COO<br>2024年 3 月 当社取締役 COO 副社長執行役員<br>2025年 3 月 当社代表取締役 CEO 社長執行役員<br>(現) | 55,200株           |
|            | <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>坏 祐次氏は、入社以来、製造、アフターサービス、海外事業など当社事業の中核領域において幅広い経験を積み、米国販売会社ではアフターセールスビジネスの拡大、収益基盤の強化に取り組み、同社社長として安定した収益モデルの構築に大きく貢献してきました。2022年よりCOOとして全社の事業運営を統括し、2024年には取締役COO副社長執行役員として組織改革・事業構造改革を推進してきました。</p> <p>さらに2025年3月以降は代表取締役CEO社長執行役員として高いリーダーシップを発揮し、国内外の販売強化、生産・サービス体制の最適化、収益性向上施策を力強く推進し、業績向上に大きく貢献しました。特に主要市場での販売体制強化やアフターサービス事業の収益拡大、生産・サプライチェーンの効率化を率先して進め、全社の収益構造の改善に寄与しています。</p> <p>これらの取り組みと、現場に根差した深い事業理解、高い実行力に基づく変革推進力を踏まえ、取締役会は同氏が引き続き取締役として適任であると判断し、取締役候補者に決めました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」・「財務・会計」・「グローバル」・「マーケティング」

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)                                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <div>再 任</div> <div>つか もと ひで き<br/>塚 本 英 樹<br/>(1962年11月29日生)</div> | 1985年 4 月 当社入社<br>1988年 7 月 Sodick(Thailand) Co.,Ltd.出向<br>1998年 3 月 Sodick(Thailand) Co.,Ltd.取締役 (現)<br>2008年 4 月 Sodick(Thailand) Co.,Ltd.取締役社長<br>2012年 4 月 沙迪克 (廈門) 有限公司董事副總經理<br>2012年 7 月 当社執行役員 生産管理本部副本部長<br>2012年 7 月 蘇州沙迪克特種設備有限公司董事<br>2014年 6 月 当社取締役 生産統括担当<br>2014年 7 月 当社上席執行役員<br>2015年 6 月 蘇州沙迪克特種設備有限公司董事長 (現)<br>2015年 6 月 沙迪克 (廈門) 有限公司董事長 (現)<br>2015年 6 月 当社常務取締役 生産統括担当<br>2020年 3 月 当社専務取締役 工作機械事業及び生産統括担当<br><br>2024年 3 月 当社取締役 CTO/CPMO 専務執行役員<br>2025年 3 月 当社取締役 専務執行役員 工作機械事業担当 (現) | 73,395株           |
| <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>塚本 英樹氏は、海外生産拠点の立ち上げ・運営にも深く関わってきたことで、工作機械の設計・開発から製造・生産管理・工場経営まで幅広い領域を経験し、その実行力と現場統率力は当社の生産体制を支える大きな強みとなっています。「世界同一品質」を掲げた生産改革を主導し、当社のものづくりの基盤強化に長年大きく貢献してきました。</p> <p>また、工作機械の技術力や市場動向に対する深い知見を有し、お客様が求める価値や現時点で市場が必要とする技術を的確に把握する高い分析力を備えています。特に、成長が期待されるレーザー加工機などの新事業においては、技術・製品・生産を総合的に見通して推進できる、当社に不可欠なリーダーとして重要な役割を担っています。</p> <p>これらの実績と広範な専門性から、同氏は経営判断及び技術・生産戦略の監督において極めて有用であり、当社の持続的成長と新事業領域の拡大に欠かせない存在であると判断し、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者に定めました。</p> |                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」・「製造・技術・R&D」・「グローバル」

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                      | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|            | <div>再 任</div> <div>たか ぎ まさ と<br/>高 木 正 人<br/>(1963年6月18日生)</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1987年 4 月 当社入社<br>1994年 4 月 生産本部第 1 技術部技術課主任<br>1998年 7 月 品質保証室技術サポート課課長<br>2006年10月 経営企画室室長<br>2008年 2 月 経営企画部部长<br>2012年 7 月 総合企画本部副本部長 執行役員<br>2018年 4 月 コーポレート本部副本部長 執行役員<br>2025年 3 月 当社取締役 常務執行役員 コーポレート部<br>門担当（現） | 22,753株           |
| 4          | <p>【取締役候補者とした理由】</p> <p>高木 正人氏は、入社以来、製造・アフターサービス・品質保証・加工技術・内部監査・経営企画など、当社事業を幅広く支える領域を歴任し、事業・管理両面に精通した人材です。東京証券取引所市場第一部への指定替えプロジェクトの推進や、コーポレート本部副本部長としての経営管理・IR・内部統制強化など、企業基盤の整備に長く貢献してきました。</p> <p>さらに2025年3月以降は取締役として、全社最適の視点から、ガバナンス強化、リスクマネジメント、経営管理プロセスの高度化、各本部間連携の強化など、会社全体の効率性・透明性向上に向けた取り組みを主導しています。これまでの幅広い経験に裏打ちされた俯瞰的な判断力と調整力を発揮し、経営の重要事項に対しても実効性の高い監督・助言を行ってきました。</p> <p>これらの実績から、同氏は当社の健全なガバナンス、経営管理体制の強化、全社横断の課題解決に引き続き中心的な役割を果たすことが期待できる人材と判断し、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者に定めました。</p> |                                                                                                                                                                                                                           |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

- ・「企業経営」・「財務・会計」・「法務・リスク管理」・「マーケティング」

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                         | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|            | <div>再任</div> <div>社外</div> <div>工藤 和直<br/>(1953年3月8日生)</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1977年4月 住友電気工業株式会社入社<br>2000年1月 同社電子材料事業部ワイヤー製品部長<br>2001年1月 同社電子材料事業部製造部長<br>2004年1月 蘇州住電装有限公司董事副総経理<br>2007年6月 蘇州住電装有限公司董事総経理<br>2008年6月 住友電装株式会社執行役員<br>2015年6月 蘇州住電装有限公司最高顧問<br>2016年7月 青島京信電子有限公司高級顧問<br>2018年3月 当社社外取締役（現）<br>2018年6月 株式会社芝浦電子社外取締役（現） | 一株                |
| 5          | <p>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</p> <p>工藤 和直氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者です。同氏は、住友電気工業株式会社において、同社の技術や生産ノウハウを生かし同社の中国事業を立ち上げるなど、グローバルリーダーとしての豊富な経験と実績を有しております。加えて、顧客ニーズを踏まえた製品戦略の構築や海外市場での事業展開などを主導した経験から、製造業のBtoBマーケティングに関する実践的な知見を有しており、当該観点から取締役会において積極的に意見を述べていただくなど、当社の社外取締役として業務執行に対する監督等適切な役割を果たしていただいております。</p> <p>また、人事諮問委員会及び報酬委員会の議長としてこれらの委員会に出席し、実効性の向上に貢献いただいております。</p> <p>上記理由から社外取締役として職務を適切に遂行できると判断し、取締役会は同氏を引き続き社外取締役候補者に決めました。</p> <p>選任後は引き続き上記の役割を果たすことを期待しています。同氏は当社グループの取引先である住友電装株式会社に在籍しておりましたが、当事業年度における年間取引金額は1%以下と僅少で退職後相当期間を経過しており、かつ同社が当社グループの意思決定に与える影響はありません。</p> <p>さらに、同氏は現在、株式会社芝浦電子の社外取締役を兼任しておりますが、同社につきましても当事業年度における年間取引金額は1%以下と僅少で、かつ同社が当社グループの意思決定に与える影響はありません。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                              |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」 ・「製造・技術・R&D」 ・「グローバル」 ・「マーケティング」

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                  | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <div>再 任</div> <div>社 外</div> <div>の なみ けん ぞう<br/>野 波 健 蔵<br/>(1949年2月21日生)</div> | 1985年 2 月 米航空宇宙局（NASA）研究員<br>1988年 4 月 米航空宇宙局（NASA）シニア研究員<br>1988年12月 千葉大学助教授<br>1994年 4 月 同大学教授<br>2008年 4 月 同大学理事・副学長（研究担当）<br>2012年10月 ミニサーベイヤーコンソーシアム（現一般社団法人日本ドローンコンソーシアム）会長（現）<br>2013年11月 株式会社自律制御システム研究所代表取締役最高経営責任者（CEO）<br>2014年 4 月 千葉大学特別教授<br>2017年 4 月 同大学名誉教授（現）<br>2018年 9 月 株式会社自律制御システム研究所取締役会長<br>2019年 6 月 一般財団法人先端ロボティクス財団理事長（現）<br>2020年 3 月 当社社外取締役（現）<br>2022年 1 月 株式会社Autonomyホールディングス 代表取締役CEO（現）<br>2023年 7 月 福島国際研究教育機構（F-REI） ロボット分野長（現） | 一株                |
| <p>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</p> <p>野波 健蔵氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者です。同氏は、米航空宇宙局（NASA）での研究経験をはじめ、大学での長年の研究活動を通じて、機械工学（制御工学）・ロボティクス分野に関する深い専門性を有しています。さらに、自律制御システムやドローン技術の産業応用、AI含む最先端技術領域にも精通しており、大学発ベンチャーの設立・経営を通じた実践的な知見も備えています。取締役会では、これらの技術的知見に基づき、研究開発方針や技術戦略に対して実効性の高い助言を行い、中長期の技術投資判断の高度化に寄与いただいています。</p> <p>また、人事諮問委員会及び報酬委員会の委員として中立的で示唆に富む意見を述べ、委員会の実効性向上に貢献されています。上記理由から社外取締役として職務を適切に遂行することができると判断し、取締役会は同氏を引き続き社外取締役候補者に決めました。選任後は引き続き上記の役割を果たすことを期待しています。</p> |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」・「製造・技術・R&D」・「グローバル」

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                      | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <div> <div>再 任</div> <div>社 外</div> </div><br>ご とう よし かず<br>後 藤 芳 一<br>(1955年10月30日生) | 1980年 4 月 通商産業省（現 経済産業省）入省<br>2003年 8 月 経済産業省 産業技術環境局標準課長<br>2004年 6 月 同省中小企業庁技術課長<br>2008年 7 月 同省製造産業局次長<br>2010年 4 月 同省大臣官房審議官（製造産業局担当）<br>2012年10月 東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 特任教授<br>2015年 6 月 パラマウントベッドホールディングス株式会社社外取締役<br>2017年10月 一般財団法人機械振興協会副会長 技術研究所長<br>2018年 6 月 パラマウントベッドホールディングス株式会社社外取締役（監査等委員）（現）<br>2022年 3 月 当社社外取締役（現） | 8,434株            |
| <b>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</b><br>後藤 芳一氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者です。<br>同氏は、経済産業省において製造産業局次長や同省大臣官房審議官（製造産業局担当）等の要職を歴任し、長年にわたり日本の製造業全般の産業振興政策に携わり、航空機、エネルギー、ヘルスケアなど幅広い産業分野において、個別事業の推進や事業運営を責任者として担うとともに、多国間の通商交渉にも関与するなど、実務の最前線で政策と事業の両面から判断を行ってきました。これらの経験を通じ、同氏は製造業を取り巻くグローバル競争環境や海外市場動向について、実践に根ざした知見を有しており、当該観点から取締役会において積極的にご発言いただくなど、当社の社外取締役として業務執行に対する監督等適切な役割を果たしていただいております。また、人事諮問委員会及び報酬委員会の委員としてこれらの委員会に出席し、積極的かつ実効性の高い意見を述べていただきました。上記理由から社外取締役として職務を適切に遂行することができると判断し、取締役会は同氏を引き続き社外取締役候補者に決めました。選任後は引き続き上記の役割を果たすことを期待しています。 |                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」 ・ 「製造・技術・R&D」 ・ 「グローバル」

| 候補者<br>番 号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)                                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重 要 な 兼 職 の 状 況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所 有 す る<br>当社の株式数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <div>再任</div> <div>社外</div><br>さ の あや こ<br>佐 野 綾 子<br>(1977年12月9日生) | 2001年 4 月 ゴールドマン・サックス証券会社（現<br>ゴールドマン・サックス証券株式会社）<br>経済調査部<br>2009年 1 月 東京西法律事務所（現 弁護士法人<br>TNLAW）入所<br>2018年10月 東京地方裁判所民事調停官<br>2018年12月 あや総合法律事務所代表（現）<br>2019年 3 月 株式会社すかいらくホールディングス<br>社外取締役（現）<br>2021年 3 月 株式会社メタップス（現 株式会社メタッ<br>プスホールディングス）社外取締役（監査<br>等委員）<br>2024年 3 月 当社社外取締役（現）<br>2024年 5 月 株式会社クラス社外監査役（現）<br>2024年 6 月 独立行政法人経済産業研究所監事（現）<br>2024年 7 月 株式会社アインホールディングス社外監<br>査役（現） | 一株                |
| <b>【社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要】</b><br>佐野 綾子氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者です。<br>同氏は、弁護士としての高度の専門知識と幅広い見識を持ち、当社以外の社外取締役や監査等委員、MBO・非公開化提案検討のための特別委員会委員長の経験等を有しており、当該観点から取締役会において積極的にご発言いただくなど、当社の社外取締役として業務執行に対する監督等適切な役割を果たしていただいております。上記理由から社外取締役として職務を適切に遂行することができると判断し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する専門的な知見を当社の経営に生かしていただくとともに、当社のコーポレート・ガバナンス体制のさらなる強化を図るため、取締役会は同氏を引き続き社外取締役候補者に決めました。選任後は引き続き上記の役割を果たすことを期待しています。 |                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                   |

「略歴」に記載の略歴及びこれ以外の経歴から、同氏は以下の経験・知見または専門知識を有しています。

・「企業経営」 ・ 「財務・会計」 ・ 「法務・リスク管理」

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 工藤 和直氏、野波 健蔵氏、後藤 芳一氏及び佐野 綾子氏は、社外取締役候補者であります。各氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、当社が定める「社外役員の独立性に関する基準」の要件も満たしておりますので、当社は、各氏を独立役員として同取引所に届け出ております。
3. 社外取締役候補者各氏は、現在、当社の社外取締役であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって、工藤 和直氏は8年、野波 健蔵氏は6年、後藤 芳一氏は4年、佐野 綾子氏は2年となります。
4. 当社は、工藤 和直氏、野波 健蔵氏、後藤 芳一氏及び佐野 綾子氏との間で、会社法第427条第1項に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額であり、再任された場合には、当該契約を継続する予定であります。
5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社取締役を含む被保険者が負担することとなる、その職務の執行に関し責任を負うこと又は当該責任の追及に係る請求を受けることによって生ずることのある損害を当該保険契約によって填補することとしております。各候補者が取締役を選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。当該保険契約は次回更新時においても同程度の内容での更新を予定しております。

【ご参考】第2号議案が承認されたのちの取締役（予定）のスキルマトリックス

当社は、基本理念である「創造」「実行」「苦労・克服」を基盤にお客様へ最高の価値を提供し、「未来を創る」企業として社会の持続的な発展に貢献するために、中長期的な企業価値向上に取り組んでおり、取締役全体として必要な専門知識・経験・能力のバランスを考慮し、それらを備えた多様性のある取締役を選任しています。

| 氏名    | 地位             | 性別 | 当社が取締役に特に期待する知見・経験 |               |                          |                           |               |                     | 独立性 | 人事<br>諮問<br>委員会 | 報酬<br>委員会 |
|-------|----------------|----|--------------------|---------------|--------------------------|---------------------------|---------------|---------------------|-----|-----------------|-----------|
|       |                |    | 企業<br>経営           | 財<br>務・<br>会計 | 法<br>務・<br>リス<br>ク<br>管理 | 製<br>造・<br>技<br>術・<br>R&D | グロ<br>ー<br>バル | マー<br>ケ<br>ティ<br>ング |     |                 |           |
| 古川健一  | 代表取締役          | 男性 | ●                  | ●             | ●                        |                           | ●             | ●                   |     | ○               | ○         |
| 坪祐次   | 代表取締役          | 男性 | ●                  | ●             |                          |                           | ●             | ●                   |     | ○               | ○         |
| 塚本英樹  | 取締役            | 男性 | ●                  |               |                          | ●                         | ●             |                     |     |                 |           |
| 高木正人  | 取締役            | 男性 | ●                  | ●             | ●                        |                           |               | ●                   |     |                 |           |
| 工藤和直  | 社外取締役          | 男性 | ●                  |               |                          | ●                         | ●             | ●                   | ○   | ○               | ○         |
| 野波健蔵  | 社外取締役          | 男性 | ●                  |               |                          | ●                         | ●             |                     | ○   | ○               | ○         |
| 後藤芳一  | 社外取締役          | 男性 | ●                  |               |                          | ●                         | ●             |                     | ○   | ○               | ○         |
| 佐野綾子  | 社外取締役          | 女性 | ●                  | ●             | ●                        |                           |               |                     | ○   |                 |           |
| 河原哲郎  | 常勤監査等<br>委員取締役 | 男性 | ●                  | ●             |                          |                           |               |                     |     |                 |           |
| 大滝真理  | 監査等委員<br>社外取締役 | 女性 |                    | ●             | ●                        |                           |               |                     | ○   |                 |           |
| 郷原玄哉  | 監査等委員<br>社外取締役 | 男性 |                    | ●             | ●                        |                           |               |                     | ○   |                 |           |
| 大村由紀子 | 監査等委員<br>社外取締役 | 女性 | ●                  |               | ●                        |                           | ●             |                     | ○   |                 |           |

1. 代表取締役は本総会後の取締役会にて決定いたします。
2. 上記一覧表は、取締役の有する全ての知見を表すものではありません。

<各スキルの選定理由と詳細>

| 項目        | 選定理由                                                                         |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------|
| 企業経営      | 事業を取り巻く環境の変化に即座に対応し、持続的に発展し企業価値を向上させていくためには、迅速な経営判断を行うことが必要となるため             |
| 財務・会計     | 正確な財務報告、強靱な企業体の構築、持続的な発展と企業価値の向上に資する成長投資を実現させるためには、財務・会計分野での知見と経験が必要となるため    |
| 法務・リスク管理  | 法務・リスクマネジメントは、適切な法令遵守と企業体制の基礎となる部分であり、その経験と知識は必要であるため                        |
| 製造・技術・R&D | 世界に一流の製品とサービスを提供し続けるためには、当社事業に関わる最先端技術（DX含む）に関する知見と経験が必要となるため                |
| グローバル     | 世界トップシェアを目指す当社において、グローバル事業の成長戦略の策定及び経営監督が重要なことから、海外事業マネジメントに関する知見と経験が必要であるため |
| マーケティング   | 企業戦略を実現し、コミットメントした経営計画等を達成するためには、現実的かつ具体的な事業戦略及びマーケティング戦略を策定し、実行することが必要となるため |

以 上

# 事業報告

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度の当社グループを取り巻く環境は、米国の関税政策、中華圏における内需の低迷、欧州の経済停滞、不安定な為替相場、物価上昇による消費マインドの低下、ウクライナや中東情勢の地政学的リスクの高まりなど先行きの不透明な状況で推移いたしました。

業種別では自動車産業においては、米国の関税政策、EVシフトの見直しなどの影響により日米欧の生産調整・投資計画の見直しが継続する一方で、中華圏ではデータセンター向け光コネクタ・電子部品・半導体の旺盛な需要に加え、今後拡大が期待される航空宇宙関連も堅調に推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループは「中国市場依存脱却」、「選択と集中」、「生産・販売体制をグローバルで再構築」、「バランスシート改善」を方針として、グループ全体での構造改革に取り組んでまいりました。

工作機械事業においては中国の蘇州工場の生産を主に厦門工場へ集約し、中国全体の生産規模を適正化しています。蘇州工場は縮小移転後、テクニカルセンターやサービス拠点として再編され、顧客の課題解決を支援する「蘇州テクセンター」を新たに開設いたしました。産業機械事業においては高付加価値機種販売への注力、食品機械事業においては製麺機・米飯装置以外の分野に向けた新製品の開発強化等を進めており、さらにグループ全体での経費削減や遊休資産の売却等の対応にも継続して取り組んでおります。

また、2025年7月18日付で経営管理体制の強化、グローバル化の推進、M&A等の高度な知見を有するアドバンテッジアドバイザーズ株式会社（現：株式会社アドバンテッジパートナーズ）と事業提携契約を締結し、資金調達を実施しました。工作機械事業の成長加速を目指し「販売力強化」、「ソリューション強化」、「在庫適正化」、「M&A」などをテーマとした複数のプロジェクトに取り組んでおります。

技術・開発活動におきましては、通電コマ自動送り機能「ACPS」がモノづくり日本会議／日刊工業新聞社主催の「第22回／2025年“超”モノづくり部品大賞」において「機械・ロボット部品賞」を受賞いたしました。ワイヤ放電加工機のワイヤ電極線に電力を給電する通電コマの位置更新を手動から自動化することで省力化・稼働率向上に大きく貢献いたします。

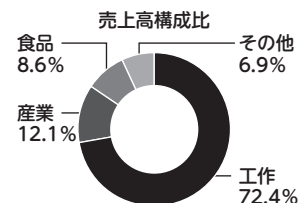
これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高805億72百万円（前期比9.4%増）、営業利益42億24百万円（前期比89.4%増）、経常利益52億31百万円（前期比

44.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益45億14百万円(前期比9.7%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### 事業セグメント別売上高

| セグメントの名称    | 第 49 期    | 第 50 期    | 前期比増減    |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 工 作 機 械 事 業 | 51,355百万円 | 58,332百万円 | 6,977百万円 |
| 産 業 機 械 事 業 | 9,560百万円  | 9,730百万円  | 170百万円   |
| 食 品 機 械 事 業 | 7,695百万円  | 6,952百万円  | △743百万円  |
| そ の 他       | 5,057百万円  | 5,557百万円  | 499百万円   |



(注) 上記の金額は外部顧客への売上高です。

#### 工作機械事業

##### ◆事業内容

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタの開発・製造・販売、保守サービス、消耗品の販売

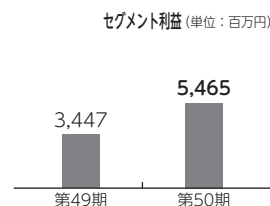
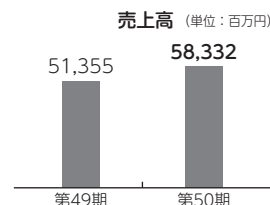
##### ◆概況

日米欧での自動車関連の低迷が継続する一方で中華圏におけるスマートフォン、データセンター向け光コネクタ、電子部品、半導体などの好調な需要に加え、航空宇宙関連において需要が堅調に推移し、売上高は前期比で大幅に増加となりました。

セグメント利益は、中国の生産集約化、工場稼働率の向上などの改善効果により前期比で大幅に増加となりました。

ものづくりの高度化は今後も継続すると見られ、当社としては高精密・高精度加工に強みのある放電加工機の一層の拡販に加え、イタリアの金属3DプリンタメーカーPrima Additive S.r.l.(現AltForm S.r.l.)の子会社化による製品の充実、販路拡大など高付加価値加工ニーズへの取り組みを進めております。

上記の結果、当事業の売上高は583億32百万円(前期比13.6%増)、セグメント利益は54億65百万円(前期比58.5%増)となりました。



## 産業機械事業

### ◆事業内容

射出成形機の開発・製造・販売、保守サービス、消耗品の販売

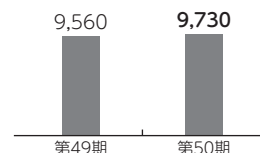
### ◆概況

自動車関連の需要は低調に推移したものの、日本、中華圏、米国を中心としたデータセンター向け光コネクタやコンタクトレンズの堅調な需要が継続し、売上高は前期比で増加しました。

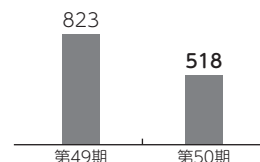
セグメント利益は、構造改革である高付加価値モデルへのシフトを進めているものの、人件費や研究開発費の増加などの影響もあり前期比で減少しました。

上記の結果、当事業の売上高は97億30百万円（前期比1.8%増）、セグメント利益は5億18百万円（前期比37.0%減）となりました。

売上高（単位：百万円）



セグメント利益（単位：百万円）



## 食品機械事業

### ◆事業内容

各種製麺機、麺製造プラント、包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、保守サービス、消耗品の販売

### ◆概況

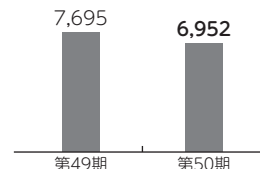
国内外における製麺機関連設備を中心に堅調に推移しているものの、中華圏における無菌包装米飯製造装置の競争環境の変化による販売低下により、売上高は前期比で減少しました。

セグメント利益は、利益貢献の高い製品の販売もあり前期比で増加しました。

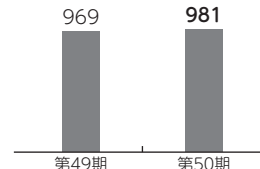
中華圏、韓国、東南アジアなどの海外市場にて食の高品質化やインフラの整備等で生麺や米飯の需要は継続しており、新たな地域への市場開拓を強化いたします。日本においては製麺機関連設備及び無菌包装米飯製造装置の更新需要を中心に安定した需要が継続しております。

上記の結果、当事業の売上高は69億52百万円（前期比9.7%減）、セグメント利益は9億81百万円（前期比1.2%増）となりました。

売上高（単位：百万円）



セグメント利益（単位：百万円）



## そ の 他

### ◆事業内容

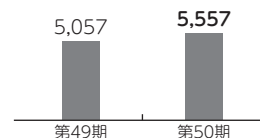
精密金型・精密コネクタなどの受託生産、リニアモータやセラミックス部材、LED投光器など独自の技術を生かした製品の開発・製造・販売など

### ◆概況

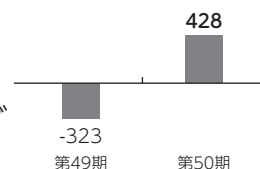
売上高は、半導体製造装置向けのセラミックス製品を中心に堅調な需要が見られたため前期比で増加しました。セグメント利益は金型成形事業における経費削減・安定稼働の効果などにより前期の赤字から黒字転換となりました。

上記の結果、当事業の売上高は55億57百万円（前期比9.9%増）、セグメント利益は4億28百万円（前期はセグメント損失3億23百万円）となりました。

売上高（単位：百万円）



セグメント利益（単位：百万円）



② 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施した企業集団の設備投資の総額は23億88百万円で、その主なものは、次のとおりです。

|        |               |               |
|--------|---------------|---------------|
| 工作機械事業 | 蘇州沙迪克特種設備有限公司 | 蘇州テフセンターの建屋取得 |
|        | 株式会社ソディック     | 研究開発設備の取得等    |
|        | 沙迪克（厦門）有限公司   | 生産設備の増設       |
| 産業機械事業 | 株式会社ソディック     | 工場建屋の修繕等      |

③ 資金調達の状況

当社は資金効率を高めた機動的な財務運用を実現すべく、資金の流動性確保を目的として、主要取引金融機関とシンジケートローンによる総額200億円のコミットメントライン契約を締結しております。借入極度額は100億円から開始し、段階的に200億円まで引き上げられる契約となっております。

当連結会計年度末における借入極度額は170億円、借入実行残高は30億円となっており、差引残高は140億円となっております。

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

| 区 分                                                        | 第 4 7 期<br>(2022年1月1日から<br>2022年12月31日まで) | 第 4 8 期<br>(2023年1月1日から<br>2023年12月31日まで) | 第 4 9 期<br>(2024年1月1日から<br>2024年12月31日まで) | 第 5 0 期<br>(2025年1月1日から<br>2025年12月31日まで) |
|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 売 上 高(百万円)                                                 | 80,495                                    | 67,174                                    | 73,668                                    | 80,572                                    |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 ( △ ) (百万円)                         | 8,275                                     | △1,257                                    | 3,627                                     | 5,231                                     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は親会社<br>株主に帰属する当期<br>純 損 失 ( △ ) (百万円) | 6,021                                     | △4,604                                    | 4,115                                     | 4,514                                     |
| 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 又 は<br>1 株 当 た り 当 期 純 損 失 ( △ )       | 112円67銭                                   | △90円29銭                                   | 81円06銭                                    | 89円19銭                                    |
| 総 資 産(百万円)                                                 | 138,433                                   | 134,066                                   | 144,993                                   | 155,695                                   |
| 純 資 産(百万円)                                                 | 80,993                                    | 77,129                                    | 84,427                                    | 90,592                                    |

### (3) 重要な子会社の状況

| 会 社 名                                           | 資 本 金 又 は 出 資 金 | 議決権比率(%) |       | 主 要 な 事 業 内 容           |
|-------------------------------------------------|-----------------|----------|-------|-------------------------|
|                                                 |                 | 直 接      | 間 接   |                         |
| 株式会社ソディックエフ・ティ                                  | 91百万円           | 100.0    | －     | 工業用セラミックの製造、成形加工        |
| Sodick(Thailand)Co.,Ltd.                        | 740百万タイバーツ      | 100.0    | －     | 放電加工機、射出成形機の開発・製造・販売    |
| 蘇州沙迪克特種設備有限公司                                   | 8,187千米ドル       | 100.0    | －     | 放電加工機の製造                |
| 上 海 沙 迪 克 軟 件 有 限 公 司                           | 166百万円          | 62.0     | 20.0  | ソフトウェアの開発・販売            |
| Sodick Holding Corporation                      | 1,000千米ドル       | 100.0    | －     | 北米における事業統括会社            |
| Sodick, Inc.                                    | 671千米ドル         | －        | 100.0 | 放電加工機の販売・アフターサービス       |
| Sodick Europe Holding Ltd.                      | 6,739千英ポンド      | 100.0    | －     | 欧州における事業統括会社            |
| Sodick Europe Ltd.                              | 100千英ポンド        | －        | 100.0 | 放電加工機の販売・アフターサービス       |
| Sodick Deutschland GmbH                         | 150千ユーロ         | －        | 100.0 | 放電加工機の販売・アフターサービス       |
| Sodick Singapore Pte.,Ltd.                      | 300千シンガポールドル    | 100.0    | －     | 放電加工機、射出成形機の販売・アフターサービス |
| 沙迪克機電（上海）有限公司                                   | 3,140千米ドル       | 100.0    | －     | 放電加工機、射出成形機の販売・アフターサービス |
| Sodick(H.K.)Co.,Ltd.                            | 2,000千米ドル       | 100.0    | －     | 当社グループ向けの原材料の販売         |
| Sodick (Taiwan) Co.,Ltd.                        | 100,000千NTドル    | 100.0    | －     | 放電加工機、射出成形機の販売・アフターサービス |
| Sodick International Trading(Shenzhen) Co.,Ltd. | 2,000千香港ドル      | －        | 100.0 | 放電加工機、射出成形機の販売・アフターサービス |
| 沙 迪 克 （ 厦 門 ） 有 限 公 司                           | 81,500千米ドル      | 100.0    | －     | 放電加工機、食品機械の製造           |

#### (4) 対処すべき課題

今後の世界経済につきましては、地政学リスクや関税政策の影響から不透明感が続くものの、中長期的には自動化、再生可能エネルギー、AIインフラ投資を背景に、設備投資は拡大基調が継続するものと予想しております。生成AIの普及に伴い、データセンターの高速大容量化が進む中で、電子部品分野では光通信デバイスや光コネクタ（MTフェルール）といった高速光通信部材の需要が増加しております。さらに、航空分野では新型航空機向け部品加工などを背景に設備投資が拡大しているほか、自動車産業ではEVシフトの鈍化が見られるものの、CASE対応や軽量化・電装化に向けた投資が引き続き進む見込みです。

このような環境のもと、当社グループは2026年8月に設立50周年を迎えるにあたり、次の50年に向けて目指す姿をより明確にするため、2026年1月に新たな理念体系を制定いたしました。当社グループは「創造力とイノベーションでモノづくりの未来を切り拓く」のパーパスのもと、進化する時代の中で果敢に挑戦を続け、持続的な成長とさらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

##### ①中期経営計画（2026年12月期-2029年12月期）

中期経営計画を従前のローリング型から、コミットメント型の計画へ転換し、各指標達成に向け取り組んでまいります。具体的なアクションプランは2026年5月以降公表予定です。

|      | 第50期<br>(2025年12月期)<br>実績 | 第51期<br>(2026年12月期)<br>予想 | 第54期<br>(2029年12月期)<br>目標 |
|------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 売上高  | 805億円                     | 885億円                     | 1,000億円                   |
| 営業利益 | 42億円                      | 55億円                      | 100億円                     |
| PBR  | 0.5倍                      | —                         | 1.0倍                      |
| ROE  | 5.2%                      | 5.6%                      | 8.0%                      |
| EPS  | 89円                       | 100円                      | 130円                      |

事業別の事業計画及び具体的な施策は以下のとおりです。

| 工作機械<br>事業                                                                                                                                                                                                                        |         | 第50期（2025年12月期）<br>実績 | 第51期（2026年12月期）<br>予想 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------|-----------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                   | 売上高     | 58,332百万円             | 64,700百万円             |
|                                                                                                                                                                                                                                   | セグメント利益 | 5,465百万円              | 6,300百万円              |
| 自動車、半導体、電子部品向けを中心に、ものづくりの高度化・省人化に伴う高精度機の需要は中長期的には増加が見込まれます。引き続き販売強化に注力している米国、欧州、インド、メキシコなどの地域や生成AIの普及に伴い、設備投資が増加しているデータセンター向けの光通信デバイス、超精密度光コネクタ（MTフェルール）関連等への需要拡大が見込まれます。また、機械販売に加え、保守サービス、消耗品販売の強化に取り組むことにより、売上高は前期比で増加となる見通しです。 |         |                       |                       |
| 産業機械<br>事業                                                                                                                                                                                                                        |         | 第50期（2025年12月期）<br>実績 | 第51期（2026年12月期）<br>予想 |
|                                                                                                                                                                                                                                   | 売上高     | 9,730百万円              | 10,500百万円             |
|                                                                                                                                                                                                                                   | セグメント利益 | 518百万円                | 800百万円                |
| 生成AIの普及に伴うデータセンターの増加による電子部品向けの需要拡大を見込んでおります。また、電力消費量・廃棄物の削減を始めとする環境対応として、当社は独自技術であるV-LINE方式の射出成形機により安定した可塑化・計量・射出を実現し、さらに使用済み製品を再利用するサーキュラーエコノミーにも取り組んでおります。ものづくりの高度化、電子部品、医療機器産業等でのニーズを捉え、超精密成形部品分野での強みを生かし、売上高は前期比で増加となる見通しです。  |         |                       |                       |
| 食品機械<br>事業                                                                                                                                                                                                                        |         | 第50期（2025年12月期）<br>実績 | 第51期（2026年12月期）<br>予想 |
|                                                                                                                                                                                                                                   | 売上高     | 6,952百万円              | 7,700百万円              |
|                                                                                                                                                                                                                                   | セグメント利益 | 981百万円                | 1,000百万円              |
| アジア地域において米飯製造装置、製麺機等の需要が継続するため、売上高は前期比で増加となる計画です。麺、米飯に次ぐ第3の柱として菓子、惣菜等の分野への展開を進めるほか、ベトナム等の東南アジアでの販売拡大を目指します。                                                                                                                       |         |                       |                       |

## ②株式会社アドバンテッジパートナーズとの連携施策の推進

2025年7月に事業提携をしたアドバンテッジパートナーズ社の高度な知見を持つメンバーと当社間でプロジェクトを組成し、「グローバル」×「ソリューション提供」×「高付加価値化」によるビジネスモデルの転換に向けた取り組みを推進してまいります。

| プロジェクト          | テーマ                                                                                                             |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 販売力強化プロジェクト     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 重点地域や重点産業向けの販売強化</li><li>・ 営業人員一人ひとりの営業力強化</li><li>・ DX、データ活用</li></ul> |
| ソリューション強化プロジェクト | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ソリューション売上拡大</li><li>・ 顧客LTV・高付加価値化</li></ul>                            |
| 在庫適正化プロジェクト     | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 製販連携の仕組み強化</li><li>・ 在庫回転期間の短縮</li></ul>                                |
| M&Aプロジェクト       | <ul style="list-style-type: none"><li>・ M&amp;A戦略による事業成長</li><li>・ 新規事業創造・高付加価値化</li></ul>                      |

## ③資本配分に関する基本方針の変更

当社は、中長期的な企業価値向上を目指し、将来の成長投資と株主還元の充実を両立させることを資本政策の基本方針としています。資本効率を重視した経営をさらに推進するため、2026年度より株主還元方針を刷新します。

利益成長に応じた株主還元を明確化し、投資家の皆様への予見性向上のため、減配を行わないことを基本とする累進配当を導入いたします。また、総還元性向40%以上を目安とし、安定的かつ機動的な還元を実施いたします。

なお、中期経営計画期間（2026年度から2029年度の4か年）では、資本効率の最適化を重点課題とし、期間全体で総還元性向70%を目安に積極的な株主還元を行い、資本構成の適正化を図ってまいります。

※総還元性向の計算式：

$$n \text{ 年度の総還元性向} = \frac{n \text{ 年度の配当} + n \text{ 年度の自己株式取得額}}{n \text{ 年度の当期純利益}}$$

(5) 主要な営業所及び工場（2025年12月31日現在）

|       |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当 社   | 本 社   | 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|       | 営 業 所 | 仙台、大宮、横浜、北陸、松本、静岡、名古屋、大阪、岡山、福岡                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|       | 事 業 所 | 福井県坂井市、石川県加賀市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 子 会 社 | 国 内   | 株式会社ソディックエフ・ティ（神奈川県横浜市）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|       | 海 外   | Sodick(Thailand)Co., Ltd.（タイ）<br>蘇州沙迪克特種設備有限公司（中国）<br>上海沙迪克軟件有限公司（中国）<br>Sodick Holding Corporation（アメリカ）<br>Sodick, Inc.（アメリカ）<br>Sodick Europe Holding Ltd.（英国）<br>Sodick Europe Ltd.（英国）<br>Sodick Deutschland GmbH（ドイツ）<br>Sodick Singapore Pte., Ltd.（シンガポール）<br>沙迪克機電（上海）有限公司（中国）<br>Sodick(H.K.)Co., Ltd.（中国香港）<br>Sodick (Taiwan) Co., Ltd.（台湾）<br>Sodick International Trading(Shenzhen) Co., Ltd.（中国）<br>沙迪克（廈門）有限公司（中国） |

(6) 使用人の状況（2025年12月31日現在）

① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分        | 使用人数    |         | 前連結会計年度末比増減 |          |
|-------------|---------|---------|-------------|----------|
| 工 作 機 械 事 業 | 2,352 名 | (92) 名  | 166 名減      | ( 20 名増) |
| 産 業 機 械 事 業 | 315 名   | (29) 名  | 2 名増        | ( 9 名減)  |
| 食 品 機 械 事 業 | 147 名   | (13) 名  | 4 名増        | ( 5 名減)  |
| そ の 他       | 317 名   | (66) 名  | 4 名減        | ( 29 名減) |
| 全 社 （ 共 通 ） | 141 名   | (45) 名  | 19 名増       | ( - )    |
| 合 計         | 3,272 名 | (245) 名 | 145 名減      | ( 23 名減) |

- (注) 1. 全社（共通）として記載されている使用人数は、特定のセグメントに区分できない当社の管理部門に所属しているものであります。
2. 使用人数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節工を含む。）は、年間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

| 使 用 人 数 | 前事業年度末比増減 | 平 均 年 齢 | 平 均 勤 続 年 数 |
|---------|-----------|---------|-------------|
| 1,173名  | 7名減       | 42.3歳   | 14.4年       |

- (注) 1. 使用人数については、臨時雇用者は含んでおりません。  
2. 使用人数については、当社から子会社等への出向者を含んでおりません。

(7) 主要な借入先の状況 (2025年12月31日現在)

| 借 入 先                   | 借 入 額    |
|-------------------------|----------|
| 株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行     | 7,079百万円 |
| 株 式 会 社 横 浜 銀 行         | 5,344    |
| 株 式 会 社 み ず ほ 銀 行       | 4,814    |
| 株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行 | 2,745    |
| 株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行   | 2,474    |
| 株 式 会 社 北 國 銀 行         | 2,241    |
| 株 式 会 社 北 陸 銀 行         | 2,029    |
| 日 本 生 命 保 険 相 互 会 社     | 986      |
| 株 式 会 社 静 岡 銀 行         | 578      |
| 株 式 会 社 宮 崎 銀 行         | 80       |

(8) その他企業集団の現況に関する重要な事項

当社は、2025年3月28日開催の第49回定時株主総会決議に基づき、同日付で監査等委員会設置会社に移行しております。

2. 会社の現況

(1) 株式の状況（2025年12月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 150,000,000株
- ② 発行済株式の総数 54,792,239株（自己株式 4,144,554株を含む）
- ③ 株主数 14,711名
- ④ 大株主

| 株主名                                        | 持株数     | 持株比率   |
|--------------------------------------------|---------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                    | 6,901千株 | 13.63% |
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口）                         | 3,938千株 | 7.78%  |
| JPモルガン証券株式会社                               | 1,343千株 | 2.65%  |
| 森田 清                                       | 1,190千株 | 2.35%  |
| ソディック共栄持株会                                 | 1,046千株 | 2.07%  |
| ソディック従業員持株会                                | 959千株   | 1.90%  |
| 有限会社ティ・エフ                                  | 895千株   | 1.77%  |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 | 867千株   | 1.71%  |
| 株式会社三井住友銀行                                 | 850千株   | 1.68%  |
| 古川 健一                                      | 845千株   | 1.67%  |

- （注） 1. 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりになります。
- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 6,901千株
  - 株式会社日本カストディ銀行（信託口） 3,938千株
2. 当社は、自己株式を4,144,554株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を除外して計算しております。

⑤ 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

当社は、2019年3月28日開催の定時株主総会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。これを受けて、当社は、2025年4月18日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く）及び執行役員並びに従業員、当社子会社の取締役及び執行役員に対して、譲渡制限付株式報酬として、2025年5月16日付で自己株式を次のとおり交付しております。譲渡制限付株式報酬の内容は、2. 会社の現況（3）会社役員の状況⑤取締役及び監査役の役員報酬等の額に記載のとおりです。

| 区 分                   | 株式数     | 交付対象者数 |
|-----------------------|---------|--------|
| 取締役（監査等委員及び社外取締役を除く。） | 14,600株 | 4名     |
| 社外取締役（監査等委員を除く。）      | 0株      | 0名     |
| 監査等委員                 | 0株      | 0名     |

（注）上記のほか、当社の執行役員9名に対して14,800株、当社の従業員60名に対して47,700株、当社子会社の取締役2名に対して2,100株、当社子会社の執行役員7名に対して3,700株を交付しております。

⑥ その他株式に関する重要な事項

当社は、2025年4月18日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月16日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式82,900株の処分を行いました。

|           |       |
|-----------|-------|
| 利益剰余金の減少額 | 2百万円  |
| 自己株式の減少額  | 61百万円 |

## (2) 会社の新株予約権等に関する事項

- ① 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権等の状況  
該当事項はありません。
- ② 当事業年度中に職務執行の対価として当社使用人等に交付した新株予約権等の状況  
該当事項はありません。
- ③ その他新株予約権等に関する重要な事項  
当社は、取締役会決議に基づき第三者割当による新株予約権及び無担保転換社債型新株予約権付社債を発行しております。

### 第1回新株予約権

|                  |                                                                                                                                                                 |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 割当日              | 2025年8月4日                                                                                                                                                       |
| 新株予約権の総数         | 21,482個                                                                                                                                                         |
| 新株予約権の発行価額       | 総額18,947,124円（本新株予約権1個当たり882円）                                                                                                                                  |
| 当該発行による<br>潜在株式数 | 潜在株式数：2,148,200株<br>本新株予約権については、行使価額の修正は行われず、従って上限行使価額及び下限行使価額はありません。                                                                                           |
| 調達資金の額           | 2,018,921,324円<br>（差引手取概算額：2,014,011,324円）（注）<br>（内訳）<br>本新株予約権発行分 18,947,124円<br>本新株予約権行使分 1,999,974,200円                                                      |
| 行使価額             | 1株当たり931円                                                                                                                                                       |
| 募集又は割当方法         | 第三者割当の方法による                                                                                                                                                     |
| 割当先              | AAGS S14, L.P.                                                                                                                                                  |
| その他              | 当社は、割当先との間で、2025年7月18日付で、本新株予約権及び本新株予約権付社債に係る引受契約（以下「本引受契約」といいます。）を締結いたしました（同契約内容の詳細は、2025年7月18日付公表の「第三者割当により発行される第1回新株予約権及び第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」参照）。 |

（注）調達資金の額は、本新株予約権の発行価額の総額と、全ての本新株予約権が行使されたと仮定して算出された行使価額の合計額です。本新株予約権の権利

行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した新株予約権を消却した場合には、調達資金の額は減少します。

第2回転換社債型新株予約権付社債

|                |                                                                                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 払込期日           | 2025年8月4日                                                                                                                                             |
| 新株予約権の総数       | 40個                                                                                                                                                   |
| 社債及び新株予約権の発行価額 | 本社債の金額100円につき金100.2円<br>ただし、本転換社債型新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないものとする。                                                                                         |
| 当該発行による潜在株式数   | 潜在株式数：8,592,900株<br>本新株予約権付社債については、転換価額の修正は行われず、従って上限転換価額及び下限転換価額はありません。                                                                              |
| 調達資金の額         | 8,016,000,000円<br>(差引手取概算額：7,996,360,000円)                                                                                                            |
| 行使価額又は転換価額     | 1株当たり931円                                                                                                                                             |
| 募集又は割当方法       | 第三者割当の方法による                                                                                                                                           |
| 割当先            | AAGS S14, L.P.                                                                                                                                        |
| その他            | 当社は、割当先との間で、2025年7月18日付で、本新株予約権及び本新株予約権付社債に係る引受契約（本引受契約）を締結いたしました（同契約内容の詳細は、2025年7月18日付公表の「第三者割当により発行される第1回新株予約権及び第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」参照）。 |

### (3) 会社役員の状況

#### ① 取締役の状況（2025年12月31日現在）

| 会社における地位               | 氏 名       | 担当及び重要な兼職状況                                                                                                  |
|------------------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長                | 古 川 健 一   | 取締役会議長                                                                                                       |
| 代 表 取 締 役              | 坪 祐 次     | CEO 社長執行役員                                                                                                   |
| 取 締 役                  | 塚 本 英 樹   | 専務執行役員（工作機械事業担当）                                                                                             |
| 取 締 役                  | 高 木 正 人   | 常務執行役員（コーポレート部門担当）                                                                                           |
| 取 締 役                  | 工 藤 和 直   | 株式会社芝浦電子 社外取締役                                                                                               |
| 取 締 役                  | 野 波 健 蔵   | 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 会長<br>一般財団法人先端ロボティクス財団 理事長<br>株式会社Autonomyホールディングス 代表取締役CEO<br>福島国際研究教育機構（F-REI） ロボット分野長 |
| 取 締 役                  | 後 藤 芳 一   | パラマウントベッドホールディングス株式会社 社外取締役<br>（監査等委員）                                                                       |
| 取 締 役                  | 佐 野 綾 子   | あや総合法律事務所 代表<br>株式会社すかいらくホールディングス 社外取締役<br>株式会社クラス 社外監査役<br>独立行政法人経済産業研究所 監事<br>株式会社アインホールディングス 社外監査役        |
| 取 締 役<br>常 勤 監 査 等 委 員 | 河 原 哲 郎   |                                                                                                              |
| 取 締 役<br>監 査 等 委 員     | 大 滝 真 理   |                                                                                                              |
| 取 締 役<br>監 査 等 委 員     | 郷 原 玄 哉   | 郷原会計事務所 所長                                                                                                   |
| 取 締 役<br>監 査 等 委 員     | 大 村 由 紀 子 | 株式会社ハルメクホールディングス 社外取締役（監査等委員）                                                                                |

- (注) 1. 取締役 工藤和直氏、野波健蔵氏、後藤芳一氏、佐野綾子氏並びに取締役（監査等委員）の大滝真理氏、大村由紀子氏及び郷原玄哉氏は、社外取締役であります。
2. 取締役（監査等委員）郷原玄哉氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
3. 取締役 佐野綾子氏及び取締役（監査等委員）大村由紀子氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務及び法律に関する相当程度の知見を有しております。

4. 情報収集の充実を図り、内部監査部門等との十分な連携を通じて、監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するために河原哲郎氏を常勤の監査等委員として選定しております。
5. 当社は取締役 工藤和直氏、野波健蔵氏、後藤芳一氏、佐野綾子氏並びに取締役（監査等委員）大滝真理氏、郷原玄哉氏及び大村由紀子氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## ② 事業年度中に退任した役員

| 氏 名       | 退 任 日      | 退 任 事 由 | 退任時の地位・担当及び重要な兼職の状況                                         |
|-----------|------------|---------|-------------------------------------------------------------|
| 前 島 裕 史   | 2025年3月28日 | 任期満了    | 取 締 役    C F O    常 務 執 行 役 員                               |
| 郷 原 玄 哉   | 2025年3月28日 | 任期満了    | 社            外            取            締            役       |
| 河 原 哲 郎   | 2025年3月28日 | 任期満了    | 監                            査                            役 |
| 河 本 朋 英   | 2025年3月28日 | 任期満了    | 監                            査                            役 |
| 大 滝 真 理   | 2025年3月28日 | 任期満了    | 社            外            監            査            役       |
| 大 村 由 紀 子 | 2025年3月28日 | 任期満了    | 社            外            監            査            役       |

## ③ 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、各社外取締役との間で責任限定契約を締結しております。

社外取締役として、その任務を怠ったことにより当社に損害を与えた場合において、各社外取締役がその職務を行うにあたり善意でかつ重大な過失がないときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として当社に対し損害賠償責任を負うものとしております。

## ④ 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、当社取締役、執行役員及び国内子会社の取締役、監査役、当社から派遣される海外子会社役員を被保険者として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。

当該保険契約により被保険者の業務に起因して損害賠償責任を負った場合における損害が填補されることとなります。ただし、被保険者の職務の執行の適正性が損なわれないようにするため、被保険者による犯罪行為に起因する損害賠償金等については填補の対象としないこととしております。なお、保険料は全額を当社が負担しております。

⑤ 取締役及び監査役の役員報酬等の額

| 役 員 区 分           | 報酬等の<br>総額<br>(百万円) | 報 酬 等 の 種 類 別 の 総 額 （ 百 万 円 ） |                    |                | 対象となる役員<br>の人数<br>(名) |
|-------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------|----------------|-----------------------|
|                   |                     | 基 本 報 酬                       | 短 期 業 績<br>連 動 報 酬 | 中長期<br>インセンティブ |                       |
| 取締役<br>(監査等委員を除く) | 146                 | 106                           | 30                 | 10             | 5                     |
| 社外取締役             | 36                  | 36                            | —                  | —              | 5                     |
| 合 計               | 183                 | 142                           | 30                 | 10             | 10                    |
| 取締役<br>(監査等委員)    | 13                  | 13                            | —                  | —              | 1                     |
| 社外取締役             | 16                  | 16                            | —                  | —              | 3                     |
| 合 計               | 29                  | 29                            | —                  | —              | 4                     |
| 監査役               | 8                   | 8                             | —                  | —              | 2                     |
| 社外監査役             | 2                   | 2                             | —                  | —              | 2                     |
| 合 計               | 10                  | 10                            | —                  | —              | 4                     |

- (注) 1. 取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2025年3月28日開催の第49回定時株主総会において年額400百万円以内（うち社外取締役分は60百万円以内）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は8名（うち、社外取締役は4名）です。また当該報酬とは別枠で2025年3月28日開催の当社第49回定時株主総会において取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）に対して譲渡制限付株式の割当てのために金銭報酬債権を報酬として支給することとし、金銭報酬債権の総額を年額100百万円以内とする決議をいただいております。
2. 監査等委員である取締役の報酬限度額は、2025年3月28日開催の第49回定時株主総会において年額60百万円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査等委員である取締役の員数は4名です。
3. 上表には2025年3月28日開催の第49回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名、社外取締役1名、常勤監査役2名、社外監査役2名が含まれております。なお、郷原玄哉氏は、2025年3月28日開催の第49回定時株主総会終結の時をもって社外取締役を退任し、社外取締役（監査等委員）に就任したため、報酬額と人数につきましては、社外取締役在任期間は社外取締役（監査等委員を除く）に、社外取締役（監査等委員）在任期間は社外取締役（監査等委員）に含めて記載しております。

4. 当社の取締役の個人別の報酬等につきましては、取締役会にて決議された「取締役報酬等の決定方針等」に基づき、報酬委員会にて承認を得た内規にその詳細な算定方法を定めており、これに従い、その内容を決定しています。なお、当期の取締役の個人別の報酬等につきましては、当該内規に基づいて決定されていることから、取締役会として決定方針に沿うものであると判断しております。なお、当社の「取締役報酬等の決定方針等」は、次のとおりであり、報酬委員会の審議を経て、2025年4月18日開催の取締役会にて決議しております。

## 取締役報酬等の決定方針等

### ①基本的な考え方

当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を経営上の課題として、株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬の決定に際しては会社業績及び各職責を踏まえた適正な成果を反映した報酬体系とします。

報酬制度の在り方、見直しの必要性については、過半数の社外取締役で構成される報酬委員会において、客観的な視点を取り入れて審議し、その答申を得て取締役会において決定します。

### ②報酬体系

- 1) 当社の役員報酬は、業務執行取締役は役位・職責に応じた報酬ランクに基づく基本報酬（固定給）と、単年度の業績反映分によって構成される短期業績連動報酬、並びに企業価値向上に対する利害を株主の皆様と共有することを目的とする株式報酬を基礎とした中長期インセンティブ報酬で構成します。なお、非業務執行取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。）は、基本報酬と短期業績連動報酬で構成し、社外取締役及び監査等委員である取締役は、基本報酬のみを原則とします。
- 2) 業務執行取締役の種類別の報酬割合については、当社と同程度の事業規模や関連する業種・業態に属する企業をベンチマークとする報酬水準を踏まえ、上位の役位ほど業績連動報酬の金額が多い構成としております。
- 3) 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の個人別の報酬は報酬委員会で、監査等委員である取締役の個人別の報酬は、監査等委員会の協議により内容を決定します。

### ③短期業績連動報酬の仕組み

- 1) 短期業績連動報酬は、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるため、当年度の親会社株主に帰属する当期純利益及び種類別の報酬割合に応じて業績連動報酬総額を算定し、当年度の業績確定後に報酬委員会での審議を経たうえで、決定から1か月以内に賞与として一括支給することとしております。
- 2) 業績指標として親会社株主に帰属する当期純利益を選定した理由は、親会社株主に帰属する当期純利益の増加が株主資本の増加となり将来の配当原資として株主の意向に沿うものと認識するためであります。
- 3) 当社グループは中期経営計画の目標を設定し、達成することにより親会社株主に帰属する当期純利益を増加するようにいたします。
- 4) 当事業年度を含む親会社株主に帰属する当期純利益の推移は、「事業報告 1. 企業集団の現況（2）直前3事業年度の財産及び損益の状況」に記載のとおりであります。

#### ④中長期インセンティブ報酬の仕組み

- 1) 取締役が中長期の企業価値向上に貢献するインセンティブとして、業務執行取締役に、役位に応じて金銭報酬債権を支給し、同債権額に応じた自己株式を割当てて譲渡制限付株式報酬を支給しております。
- 2) 金銭報酬債権の総額は過去2年間のEBITDAの平均額及び単年度のES（従業員満足度調査）スコアにより算定しております。
- 3) 金銭報酬債権の総額指標としてEBITDAを選定した理由は、設備投資等に伴う減価償却費や金利等の増加による利益の減少に左右されず、中長期的な視野で株主価値の増大に寄与する経営を行うためであり、また、ESスコアを追加選定した理由は、当社が持続的に成長するためには、従業員のやりがいや売上や利益等、経営に重要な指標に直結しているためであります。
- 4) 譲渡制限付株式報酬は、報酬委員会の答申を踏まえ、取締役会で各取締役の割当株式数を決議しております。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の基本的な報酬構成

| 固定割合（50～60％）                                     |  | 変動割合（40～50％）                     |                                                                    |
|--------------------------------------------------|--|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 基本報酬                                             |  | 短期業績連動報酬<br>(24～30％)             | 中長期インセンティブ報酬<br>(16～20％)                                           |
| 代表権の有無、業績に与える影響度や貢献度等、総合的に勘案し、役位ごとに報酬水準及び固定割合を設定 |  | 単年度の業績評価（支給率の指標：親会社株主に帰属する当期純利益） | 中長期的な企業価値向上への貢献意欲を高め、株主の皆様と利益意識の共有（支給率の指標：EBITDAの過去2年平均、単年度のESスコア） |

#### ⑤取締役の個人別の報酬等の決定に係る委任

取締役会は、代表取締役古川健一氏、坪祐次氏、社外取締役工藤和直氏、野波健蔵氏及び後藤芳一氏で構成される報酬委員会に対し、各取締役の報酬額の決定を委任しております。委任した理由として、同委員会は社外取締役が過半数を占めるため客観性・妥当性において適していると判断したためであります。

|         | 氏名    | 役位・担当           | 区分 |
|---------|-------|-----------------|----|
| 報酬委員会議長 | 工藤 和直 | 取締役             | 社外 |
| 報酬委員会委員 | 古川 健一 | 代表取締役会長 取締役会議長  | 社内 |
| 報酬委員会委員 | 坪 祐次  | 代表取締役 CEO社長執行役員 | 社内 |
| 報酬委員会委員 | 野波 健蔵 | 取締役             | 社外 |
| 報酬委員会委員 | 後藤 芳一 | 取締役             | 社外 |

2025年12月期においては、報酬委員会を6回開催し、当年度の各取締役の定額報酬、譲渡制限付株式報酬について報酬支払の方針及び個人別報酬についての検討を行いました。  
なお、各監査等委員の報酬については監査等委員の協議を経て支給額を決定しております。

⑥ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の社外役員等としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

|                            | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                              | 当 該 他 の 法 人 等 と の 関 係        |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 取 締 役 工 藤 和 直              | 株式会社芝浦電子 社外取締役                                                                                               | 当社は同社との間に原材料の仕入れ等の取引関係があります。 |
| 取 締 役 野 波 健 蔵              | 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 会長<br>一般財団法人先端ロボティクス財団 理事長<br>株式会社Autonomyホールディングス 代表取締役CEO<br>福島国際研究教育機構（F-REI） ロボット分野長 | 特別の関係はありません。                 |
| 取 締 役 後 藤 芳 一              | パラマウントベッドホールディングス株式会社<br>社外取締役（監査等委員）                                                                        | 特別の関係はありません。                 |
| 取 締 役 佐 野 綾 子              | あや総合法律事務所 代表<br>株式会社すかいらくホールディングス 社外取締役<br>株式会社クラス 社外監査役<br>独立行政法人経済産業研究所 監事<br>株式会社アインホールディングス 社外監査役        | 特別の関係はありません。                 |
| 取 締 役<br>（監査等委員） 大 滝 真 理   | —                                                                                                            | —                            |
| 取 締 役<br>（監査等委員） 郷 原 玄 哉   | 郷原会計事務所 所長                                                                                                   | 特別の関係はありません。                 |
| 取 締 役<br>（監査等委員） 大 村 由 紀 子 | 株式会社ハルメクホールディングス 社外取締役<br>（監査等委員）                                                                            | 特別の関係はありません。                 |

□. 当事業年度における主な活動状況

|                      | 出席状況             |                  | 主な活動状況及び<br>社外取締役期待される役割に関し行った職務の概要                                                                                                                       |
|----------------------|------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | 取締役会             | 監査等委員会           |                                                                                                                                                           |
| 取締役 工藤和直             | 13/13回<br>(100%) | —                | 海外における製造技術や経営等の豊富な経験に基づき、当社の海外での事業展開や製造面に対しての助言を行うなど、当社の経営全般に対する有益な発言を行っております。また、人事諮問委員会及び報酬委員会の議長として客観的・中立的な立場で当社役員等の指名プロセスや当社取締役の報酬決定に対する監視・監督を行っております。 |
| 取締役 野波健蔵             | 13/13回<br>(100%) | —                | 大学での長年の研究による専門的知識及びベンチャー企業の経営者としての豊富な経営経験を生かし、当社の技術戦略をはじめ経営全般に対し有益な発言を行っております。また、人事諮問委員会及び報酬委員会の委員として客観的・中立的な立場で当社役員等の指名プロセスや当社取締役の報酬決定に対する監視・監督を行っております。 |
| 取締役 後藤芳一             | 13/13回<br>(100%) | —                | 長年の企業のものづくりを中心とした産業振興に関する経済行政分野での幅広い経験と知見に基づき、当社の経営全般に対して有益な発言を行っております。また、人事諮問委員会及び報酬委員会の委員として客観的・中立的な立場で当社役員等の指名プロセスや当社取締役の報酬決定に対する監視・監督を行っております。        |
| 取締役 佐野綾子             | 12/13回<br>(92%)  | —                | 弁護士としての高度の専門知識と幅広い見識及び経験に基づき有益な発言を行っております。取締役会において、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための発言を行っております。                                                                   |
| 取締役<br>(監査等委員) 大滝真理  | 13/13回<br>(100%) | 11/11回<br>(100%) | 他社における内部監査及び監査役としての豊富な経験と幅広い見識に基づき取締役会及び監査等委員会において有益な発言を行っております。                                                                                          |
| 取締役<br>(監査等委員) 郷原玄哉  | 13/13回<br>(100%) | 11/11回<br>(100%) | 公認会計士としての長年にわたる監査法人での監査業務を通じた財務会計の専門家としての豊富な経験及び高い知見に基づき取締役会及び監査等委員会において有益な発言を行っております。                                                                    |
| 取締役<br>(監査等委員) 大村由紀子 | 13/13回<br>(100%) | 11/11回<br>(100%) | 弁護士としての高度の専門知識と幅広い見識及び経験に基づき取締役会及び監査等委員会において有益な発言を行っております。                                                                                                |

- (注) 1. 書面決議による取締役会の回数は除いております。
2. 監査等委員会設置会社移行前の期間において、取締役（監査等委員）大滝真理氏及び大村由紀子氏は、社外監査役に就任していましたが、当該期間開催の監査役会3回のうち大滝真理氏は3回、大村由紀子氏は2回出席しております。
3. 第50期の取締役会は13回（定時12回、臨時1回）開催されております。

## ハ．社外役員の独立性についての当社の考え方

当社は、会社法上の要件に加え、下記のとおり独自の「株式会社ソディック 社外役員の独立性に関する基準」を策定し、この資格要件を基準に社外役員を選任しているため、社外役員の独立性は、十分保たれていると判断しております。

### 「株式会社ソディック 社外役員の独立性に関する基準」

当社は、経営の監督機能及び透明性を高め、コーポレート・ガバナンス体制の強化を図るため、当社が定める以下の基準に照らして、当社グループと特別な利害関係がなく独立性を確保できる人材を社外役員<sup>1</sup>に招聘しております。

- 1．当社の社外役員が独立性を有していると判断される場合には、当該社外役員が以下のいずれの基準にも該当してはならないこととしています。
  - ① 当社グループの業務執行者<sup>2</sup>である者
  - ② 当社グループを主要な取引先<sup>3</sup>とする者（当該関係を有する者が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ③ 当社グループの主要な取引先である者（当該関係を有する者が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ④ 当社グループから役員報酬以外に、一定額<sup>4</sup>を超える金銭その他の財産上の利益を受けている弁護士、公認会計士、税理士又はコンサルタント等（当該関係を有する者が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ⑤ 当社グループから一定額を超える寄付又は助成を受けている者（当該関係を有する者が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ⑥ 実質的に当社の総議決権の10%以上の株式を保有する株主である者（当該株主が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ⑦ 実質的に当社グループが総議決権の10%以上の株式を保有している法人の業務執行者
  - ⑧ 当社グループと重大なビジネス上の関係や重大な利害関係を有する者（当該関係を有する者が法人等の団体である場合は、その業務執行者である者）
  - ⑨ 上記①～⑧に過去3年間に於いて該当していた者
  - ⑩ 上記①～⑨に該当する者が重要な者<sup>5</sup>である場合において、その者の配偶者又は二親等以内の親族

(注) 1. 社外役員とは、社外取締役をいう。

2. 業務執行者とは、株式会社の業務執行取締役、執行役、執行役員、会社以外の法人・団体の業務を執行する者及び会社を含む法人・団体の使用人（従業員等）をいう。

3. 主要な取引先とは、直近事業年度の当社グループとの取引額が双方いずれかにおいて連結売上高の2%以上の取引がある者（当該取引先が法人等の団体である場合は、その業務執行者）をいう。

4. 一定額とは、その価額の総額が、個人の場合は1事業年度につき1,000万円以上、法人等の団体の場合は双方いずれかにおいて連結売上高の2%を超えることをいう。

5. 重要な者とは、業務執行者のうち、業務執行取締役、執行役、執行役員等の重要な業務を執行する者をいう。

- 2．その他、独立した社外役員としての職務を果たせないと合理的に判断される事情を有していないこと。

#### (4) 会計監査人の状況

##### ① 名称

太陽有限責任監査法人

##### ② 報酬等の額

|                                     | 支 払 額 |
|-------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 63百万円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 63    |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

3. 当社の重要な連結子会社のうち、Sodick(Thailand)Co.,Ltd.、Sodick Deutschland GmbH、Sodick Europe Ltd.、Sodick Singapore Pte.,Ltd.、Sodick, Inc.、Sodick (Taiwan) Co.,Ltd.、沙迪克（廈門）有限公司、蘇州沙迪克特種設備有限公司、沙迪克機電（上海）有限公司、Sodick International Trading(Shenzhen) Co.,Ltd.、AltForm S.r.l.は、当社の会計監査人以外の公認会計士又は監査法人（外国におけるこれらの資格に相当する資格を有する者を含む。）の監査（会社法又は金融商品取引法（これらの法律に相当する外国の法令を含む。）の規定によるものに限る。）を受けております。

##### ③ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査等委員会の決定により、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき監査等委員会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

#### (5) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針といたします。配当については、減配を行わないことを基本とする累進配当方針を採用するとともに、総還元性向40%以上を目標としております。2026年12月期につきましては、設立50周年を記念し、記念配当を含め1株当たり35円の配当を予想しておりますが、2027年12月期以降は当該35円を基礎配当水準と位置付け、当該水準を下回らない累進配当を実施する方針です。

さらに、2026年12月期から2029年12月期までの4年間における配当及び自己株式取得の累計額を、同期間の当期純利益の累計額で除した総還元性向として70%以上を目安に、積極的な株主還元を実施してまいります。

なお、当社は、取締役会決議により「中間及び期末配当をすることができる」旨を定款に定めております。

# 連結貸借対照表

(2025年12月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目                    | 金 額            | 科 目                          | 金 額            |
|------------------------|----------------|------------------------------|----------------|
| <b>資 産 の 部</b>         | <b>155,695</b> | <b>負 債 の 部</b>               | <b>65,103</b>  |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>108,208</b> | <b>流 動 負 債</b>               | <b>37,746</b>  |
| 現 金 及 び 預 金            | 45,064         | 支 払 手 形 及 び 買 掛 金            | 6,821          |
| 受取手形、売掛金及び契約資産         | 19,519         | 電 子 記 録 債 務                  | 5,079          |
| 電 子 記 録 債 権            | 2,685          | 短 期 借 入 金                    | 4,010          |
| 有 価 証 券                | 4,000          | 1 年 内 償 還 予 定 の 社 債          | 160            |
| 商 品 及 び 製 品            | 12,172         | 1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金    | 7,506          |
| 仕 掛 品                  | 10,349         | 未 払 金                        | 1,392          |
| 原 材 料 及 び 貯 蔵 品        | 10,866         | 未 払 法 人 税 等                  | 846            |
| そ の 他                  | 3,896          | 契 約 負 債                      | 5,821          |
| 貸 倒 引 当 金              | △ 344          | 製 品 保 証 引 当 金                | 694            |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>47,486</b>  | 品 質 保 証 引 当 金                | 1              |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>32,195</b>  | 賞 与 引 当 金                    | 1,274          |
| 建 物 及 び 構 築 物          | 39,159         | 役 員 賞 与 引 当 金                | 58             |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具      | 26,333         | 資 産 除 去 債 務                  | 112            |
| 工 具 器 具 備 品            | 5,277          | そ の 他                        | 3,965          |
| 土 地                    | 8,447          | <b>固 定 負 債</b>               | <b>27,356</b>  |
| リ ー ス 資 産              | 3,466          | 社 債                          | 8,014          |
| 建 設 仮 勘 定              | 238            | 長 期 借 入 金                    | 16,921         |
| 減 価 償 却 累 計 額          | △ 50,726       | 製 品 保 証 引 当 金                | 102            |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>5,478</b>   | 退 職 給 付 に 係 る 負 債            | 819            |
| の れ ん                  | 3,506          | 資 産 除 去 債 務                  | 52             |
| そ の 他                  | 1,972          | そ の 他                        | 1,447          |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>9,812</b>   | <b>純 資 産 の 部</b>             | <b>90,592</b>  |
| 投 資 有 価 証 券            | 6,339          | <b>株 主 資 本</b>               | <b>69,242</b>  |
| 退 職 給 付 に 係 る 資 産      | 1,112          | 資 本 金                        | 24,618         |
| 繰 延 税 金 資 産            | 1,309          | 資 本 剰 余 金                    | 9,717          |
| そ の 他                  | 1,150          | 利 益 剰 余 金                    | 37,981         |
| 貸 倒 引 当 金              | △ 100          | 自 己 株 式                      | △ 3,075        |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>155,695</b> | <b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b> | <b>21,259</b>  |
|                        |                | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金      | 1,387          |
|                        |                | 為 替 換 算 調 整 勘 定              | 19,268         |
|                        |                | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額      | 603            |
|                        |                | <b>新 株 予 約 権</b>             | <b>18</b>      |
|                        |                | <b>非 支 配 株 主 持 分</b>         | <b>71</b>      |
|                        |                | <b>負 債 純 資 産 合 計</b>         | <b>155,695</b> |

連結損益計算書

(2025年1月1日から  
2025年12月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                                                                                    |                                           | 金 額 |        |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----|--------|
| 売上<br>販売<br>営業                                                                         | 売上<br>費                                   |     | 80,572 |
|                                                                                        | 上<br>及                                    |     | 52,364 |
| 営業                                                                                     | 上<br>業                                    |     | 28,207 |
|                                                                                        | 業<br>外                                    |     | 23,982 |
| 受<br>受<br>為<br>持<br>助<br>ス<br>そ<br>営                                                   | 取<br>取                                    |     | 4,224  |
|                                                                                        | 替<br>に                                    |     | 342    |
| 分<br>法<br>成<br>ク<br>ラ<br>ッ<br>プ<br>の<br>費<br>用                                         | 配<br>よ<br>金<br>の<br>費<br>用                |     | 117    |
|                                                                                        | る<br>金<br>の<br>費<br>用                     |     | 352    |
| 支<br>倒<br>引<br>当<br>金<br>繰<br>入<br>額<br>（<br>営<br>業<br>外<br>）<br>用<br>料<br>用<br>他<br>益 | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 327    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 294    |
| 支<br>貸<br>固<br>シ<br>株<br>式<br>株<br>主<br>そ<br>の<br>外<br>の<br>利<br>益                     | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 28     |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 358    |
| 特<br>固<br>投<br>移<br>そ<br>の<br>外<br>の<br>利<br>益                                         | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 422    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 16     |
| 特<br>固<br>固<br>事<br>段<br>そ<br>の<br>外<br>の<br>利<br>益                                    | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 71     |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 21     |
| 税<br>法<br>法<br>当<br>非<br>親                                                             | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 180    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 105    |
| 金<br>等<br>調<br>整<br>前<br>当<br>期<br>純<br>利<br>益                                         | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 816    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 5,231  |
| 人<br>税<br>、<br>住<br>民<br>税<br>及<br>び<br>事<br>業<br>税<br>額                               | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 98     |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 667    |
| 法<br>人<br>税<br>等<br>調<br>整<br>額                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 528    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 46     |
| 当<br>期<br>純<br>利<br>益                                                                  | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 15     |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 71     |
| 非<br>支<br>配<br>株<br>主<br>に<br>帰<br>属<br>す<br>る<br>当<br>期<br>純<br>損<br>失                | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 573    |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 122    |
| 親<br>会<br>社<br>株<br>主<br>に<br>帰<br>属<br>す<br>る<br>当<br>期<br>純<br>利<br>益                | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 0      |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 782    |
| 税<br>法<br>法<br>当<br>非<br>親                                                             | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 5,789  |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 1,281  |
| 金<br>等<br>調<br>整<br>前<br>当<br>期<br>純<br>利<br>益                                         | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 4,507  |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | △ 7    |
| 人<br>税<br>、<br>住<br>民<br>税<br>及<br>び<br>事<br>業<br>税<br>額                               | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 4,514  |
|                                                                                        | 利<br>差<br>投<br>収<br>売<br>却<br>の<br>利<br>益 |     | 4,514  |

(2025年12月31日現在)

(单位:百万円)

| 科 目                             |                                           | 金 額     | 科 目                       |     | 金 額    |
|---------------------------------|-------------------------------------------|---------|---------------------------|-----|--------|
| 資 産 の 部                         |                                           | 99,785  | 負 債 の 部                   |     | 49,256 |
| 流 動 資 産                         | 預 金 形 権 金 産 券 品 品 品 金 用 金 金 等 他 金         | 49,690  | 流 動 負 債                   | 債 務 | 23,931 |
| 現 受 電 売 契 有 商 仕 原 未 前 未 立 未 ぞ 貸 | 金 取 記 掛 資 証 製 貯 蔵 費 貸 付 替 の 引 当 倒 資 定 資 産 | 9,437   | 電 子 記 録 債 務               |     | 5,079  |
|                                 |                                           | 162     | 買 掛 金                     |     | 4,581  |
|                                 |                                           | 2,637   | 短 期 借 入 金                 |     | 2,000  |
|                                 |                                           | 13,396  | 1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金 |     | 7,317  |
|                                 |                                           | 1,451   | リ ー ス 債 務                 |     | 81     |
|                                 |                                           | 4,000   | 未 払 払 費 用                 |     | 691    |
|                                 |                                           | 2,817   | 未 払 法 人 税 等               |     | 541    |
|                                 |                                           | 5,628   | 契 約 負 債                   |     | 387    |
|                                 |                                           | 4,462   | 預 り 金                     |     | 806    |
|                                 |                                           | 63      | 製 品 保 証 引 当 金             |     | 88     |
|                                 |                                           | 446     | 品 質 保 証 引 当 金             |     | 276    |
|                                 |                                           | 252     | 賞 与 引 当 金                 |     | 1      |
|                                 |                                           | 344     | 役 員 賞 与 引 当 金             |     | 1,125  |
|                                 |                                           | 3,651   | 資 産 除 去 債 務               |     | 53     |
|                                 |                                           | 128     | そ の 他                     |     | 18     |
|                                 |                                           | 795     | 固 定 負 債                   |     | 882    |
|                                 |                                           | 18      | 社 長 期 借 入 金               |     | 25,325 |
|                                 |                                           | △6      | リ ー ス 債 務                 |     | 8,014  |
| 固 有 形 固 定 資 産                   | 物 物 置 具 品 地 産 定 額                         | 50,095  | 製 品 保 証 引 当 金             |     | 17,114 |
| 建 構 機 車 工 土 工 建 減 価 償 倒 資 産     | 装 備 搬 運 具 資 勘 計                           | 16,674  | 資 産 除 去 債 務               |     | 44     |
|                                 |                                           | 17,725  | そ の 他                     |     | 102    |
|                                 |                                           | 1,178   |                           |     | 46     |
|                                 |                                           | 7,078   |                           |     | 3      |
|                                 |                                           | 57      | 純 資 産 の 部                 |     | 50,528 |
|                                 |                                           | 3,016   | 株 主 資 本                   |     | 49,240 |
|                                 |                                           | 6,298   | 資 本 金                     |     | 24,618 |
|                                 |                                           | 359     | 資 本 剰 余 金                 |     | 9,719  |
|                                 |                                           | 69      | 資 本 準 備 金                 |     | 9,719  |
|                                 |                                           | △19,109 | 利 益 剰 余 金                 |     | 17,977 |
| 無 形 固 定 資 産                     | ん 権 ア 権 他                                 | 817     | そ の 他 利 益 剰 余 金           |     | 17,977 |
| の 借 ソ 電 投 資                     | フ ト ウ エ 入 他                               | 228     | 繰 越 利 益 剰 余 金             |     | △3,075 |
|                                 |                                           | 11      | 自 己 株 式                   |     | 1,269  |
|                                 |                                           | 517     | 評 価 ・ 換 算 差 額 等           |     | 1,269  |
|                                 |                                           | 28      | 新 株 予 約 権                 |     | 18     |
|                                 |                                           | 30      |                           |     |        |
| 投 資 の 他 の 資 産                   | 券 式 金 金 金 用 金 産 他 金                       | 32,603  |                           |     |        |
| 投 関 出 関 関 長 前 敷 繰 ぞ 貸           | 証 株 金 金 金 用 金 産 他 金                       | 2,508   |                           |     |        |
|                                 |                                           | 17,380  |                           |     |        |
|                                 |                                           | 0       |                           |     |        |
|                                 |                                           | 9,207   |                           |     |        |
|                                 |                                           | 2,320   |                           |     |        |
|                                 |                                           | 328     |                           |     |        |
|                                 |                                           | 519     |                           |     |        |
|                                 |                                           | 59      |                           |     |        |
|                                 |                                           | 230     |                           |     |        |
|                                 |                                           | 54      |                           |     |        |
|                                 |                                           | △5      |                           |     |        |
| 資 産 合 計                         |                                           | 99,785  | 負 債 純 資 産 合 計             |     | 99,785 |

損 益 計 算 書

(2025年 1 月 1 日から  
2025年12月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目                     |       | 金 額 |        |
|-------------------------|-------|-----|--------|
| 売 上 高                   |       |     | 45,504 |
| 売 上 原 価                 |       |     | 34,505 |
| 売 上 総 利 益               |       |     | 10,999 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |       |     | 10,036 |
| 営 業 利 益                 |       |     | 962    |
| 営 業 外 収 益               |       |     |        |
| 受 取 利 息                 | 128   |     |        |
| 受 取 配 当 金               | 2,991 |     |        |
| 為 替 差 益                 | 244   |     |        |
| 賃 貸 料 収 入               | 123   |     |        |
| 雑 収 入                   | 156   |     | 3,644  |
| 営 業 外 費 用               |       |     |        |
| 支 払 利 息                 | 354   |     |        |
| 賃 貸 固 定 資 産 諸 費 用       | 144   |     |        |
| 雑 損 失                   | 70    |     | 570    |
| 経 常 利 益                 |       |     | 4,036  |
| 特 別 利 益                 |       |     |        |
| 固 定 資 産 売 却 益           | 64    |     |        |
| 投 資 有 価 証 券 売 却 益       | 662   |     |        |
| そ の 他                   | 46    |     | 773    |
| 特 別 損 失                 |       |     |        |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 38    |     |        |
| 事 業 構 造 改 善 費 用         | 371   |     |        |
| そ の 他                   | 0     |     | 409    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |       |     | 4,400  |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 536   |     |        |
| 法 人 税 等 調 整 額           | △280  |     | 255    |
| 当 期 純 利 益               |       |     | 4,145  |

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2026年2月20日

株式会社ソディック  
取締役会 御中

太陽有 限 責 任 監 査 法 人  
東 京 事 務 所

指定有限責任社員 公認会計士 田 尻 慶 太  
業 務 執 行 社 員  
指定有限責任社員 公認会計士 渡 部 興 市 郎  
業 務 執 行 社 員

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ソディックの2025年1月1日から2025年12月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ソディック及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、連結計算書類の監査を計画し実施する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2026年2月20日

株式会社ソディック  
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 田尻 慶太  
業務執行社員  
指定有限責任社員 公認会計士 渡部 興市郎  
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ソディックの2025年1月1日から2025年12月31日までの第50期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2025年1月1日から2025年12月31日までの第50期事業年度における取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施いたしました。

- ①監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2026年2月26日

株式会社 ソディック 監査等委員会

常勤監査等委員 河原 哲郎 ㊞

監査等委員 大滝 真理 ㊞

監査等委員 郷原 玄哉 ㊞

監査等委員 大村 由紀子 ㊞

(注) 監査等委員 大滝 真理氏、郷原 玄哉氏及び大村 由紀子氏は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に定める社外取締役であります。

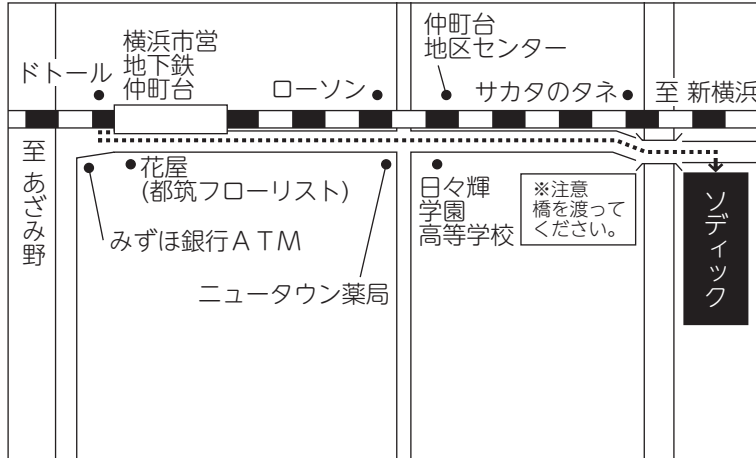
以 上

## 株主総会会場ご案内略図

会 場：株式会社ソディック 本社3階会議室

住 所：横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

T E L : 045-942-3111

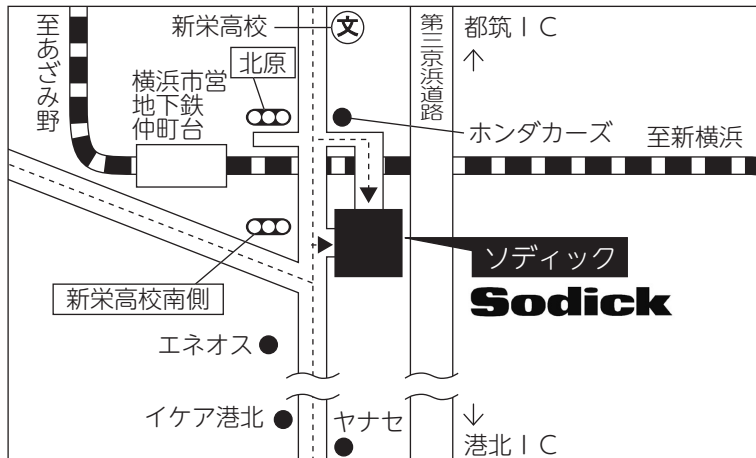


### ●電車でのご来場の場合

横浜市営地下鉄「仲町台駅」

下車徒歩約10分

【駅改札口にて左折、さらに左方向  
(新横浜方面)へ線路沿いに直進】



### ●お車でのご来場の場合

第三京浜

☆港北ICより約2.3km

☆都筑ICより約1.5km

首都高速

☆横浜港北ICより約2.3km

### ※注意

新横浜・港北IC方面からおいでの方は、  
中央分離帯があるため正面車両入口には右  
折できません。

その先のホンダカーズがある北原交差点を  
右折し、約200m先右手の車両入口よりご  
入場ください。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。